2004/01/07　　藤沢分会機関紙　第　1730 号

労働者の
労働者による
労働者の為の
ＪＭＩＵ

あゆみ

全日本金属情報機器
労働組合　ＪＭＩＵ
ＩＢＭ支部藤沢分会
Tel:Fax 0466-44-6337

新年の挨拶

藤沢分会・委員長

藤沢事業所で働く皆さん、あけましておめでとうございます。

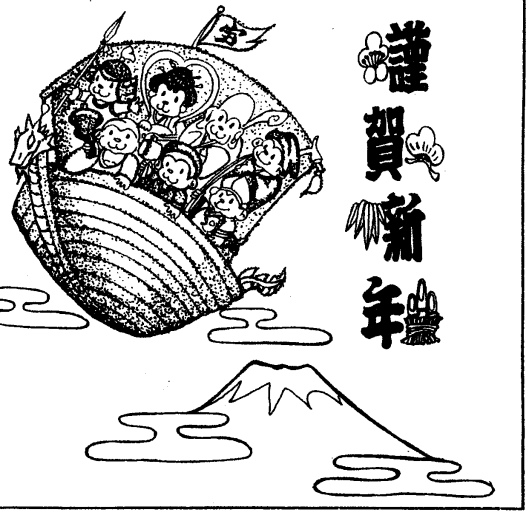
昨年は機関紙支援カンパ、社員代表選挙へのご支援ありがとうございました。

昨年はイラクへの自衛隊派遣という戦後初めての国連主導でない歴史の曲がり角が合った年でした。藤沢事業所もＩＢＭと日立ＧＳＴが同居する事業所として始めての年で、リストラが日常化して定年を待たずにそれぞれの会社をさる人がいた年でした。

組合は新年早々に賃上げを始めサービス残業、裁量労働制などの問題等に関してアンケートを実施し働く者の雇用と職場を守る為に努力してゆきます。

本年も皆様の積極的なご支援ご協力をよろしく御願いします。

本年も、どうぞ組合へのご支援よろしくお願い致します。



トリック2004

いよいよこの会社でも裁量勤務制が導入される。リストラで人が減って、一人当りの仕事量が増えてしまったため、もともとサービス残業が異常に多いところであった。

それが勤務実態はそのまま、何も改善せず違法状態がきれいに合法化できるわけである。そりゃ会社はうれしいだろう。社員の中にも、これを歓迎する動きがある。が、1時間だけ会社に出てくればいいという夢のような話を実行できる人はいるだろうか。サービス残業にしても、部門に予算がない、周りはやっている等々のプレッシャーに晒されてつきあっていた人がいきなりそんなことができるわけがない。もっとも会社もそこんところは、「まるっと?、ばくっと?お見通しだ!」。

成果が出ないとプレッシャーを与えれば長時間会社でがんばる姿勢を見せるしかない。会社だけがまるもうけの「トリック」。今年もリストラ・プログラムが走り始めた。マネージャはあなたにこういう。「もっと、がんばる姿勢を見せないとリストラ候補のリストに載っちゃうよ。いいの?」。毒見役を気取って振り向いたら誰もいなかったということはないか。最近、日本企業ではアメリカ流の人事施策への疑問が投げかけられているという。

（まりもようかん）

ヘッドライト

▼正月の新聞コラムに日本はあらゆる宗教がごく普通に生活習慣に溶け込んでいるとあった。キリスト教のクリスマスに始まって、仏教の除夜の鐘、神道の初詣で、お年玉は儒教である。

イラク、イスラエル、パレスチナ…。世界では宗教戦争で多くの血が流れている。その中で日本は、全ての宗教がみんな仲良くしている、共存していると言っていいだろう。我々日本人には意識がないし、宗教観が低いんじゃないかと恥ずかしく思っている人も多いようだけど大間違い。全世界に誇っていいことですと述べていてなるほどと思った。これは国連に行って小泉首相や川口外相に「ここに世界平和のサンプルがありますよ」と、胸を張って演説してもらったらいいと述べていた。こんな発言で世界各国が右へならいし平和になるとは思わないが、平和を願う気持ちはどの国も同じであることに違いはない。

昨年は、恒例の新春座談会が日立ＧＳＴ問題で中止、今年は待ちかねた面々、ＯＢ８人を含め、１８人が片瀬江ノ島駅に集合しました。白髪と皺が増えたＯＢ、一方若さを誇示した現役が江の島神社に初詣。

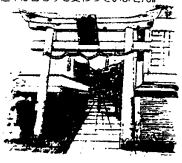
快晴で暖かく、境内は人の波が絶えない。しばしウオーキング、江の島展望灯台に登り広がるパノラマを鑑賞、ここでパチリと集合写真を撮る。お腹も空き、「海の恵みを贅沢に」を触れ込みの「魚身亭」で昼食、伊豆大島が一望できる絶景の場所、ここで座談会を開きました。

＜初対面の人もいるので、自己紹介を＞

年金者、労連の組合で活動しているＯＢが夫々自己紹介、再婚で第２の人生を闊歩しているＯＢ、周りから羨ましいとの声、続いて現役の若い組合員から、人権無視で日立ＧＳＴに一方的に移籍させられた怒りをこの裁判で勝利したいと抱負語ってくれました。

青銅の鳥居（せいどう　とりい）

江の島の入口に建つ青銅の鳥居は、市指定文化財です。文政４年（1821年）に再建されたものですが、両社には数多くの寄進者名が彫られ江戸時代の信仰の広さを今に伝えています。懸額に記されているのは江の島大明神。鳥居をくぐると土産物屋さんが立ち並ぶ賑やかな参道に続きます。道巾は昔も今も変わっていません。



恒例　２００４年新春座談会

IBMの地位確認にむけた裁判闘争勝利の年に
変化の年になるか、日立GST

＜さて、ＯＢから日立ＧＳＴについて、いくつか質問がでているようですが＞

一　昨年の１２．１１「会社分割とたたかうＩＢＭの仲間の勝利をめざす大集会」には４００人が参加し、大成功でした。準備も大変でしたが、世論に少しずつ浸透してきているのではないだろうか。分割法での始めての闘いで厳しさもあるが、手お緩めず引続き、次の戦術を考えながら、ＩＢＭに戻すこの裁判に勝利したい。

一　ＩＢＭとの違う点では、今年から就業後に会社内で酒が飲めるようになるとのこと。日立に限らず、日本の企業では多いのではないか。となると、ＩＢＭ社員もＯＫかな？合理的な点では、ゴム印が名前だけ、部署が変わっても使えるということのようだ。ただし、課長以上は、朱肉が赤、これで上下を区別。さらに、社員でも職工さんには、Notes IDがないとのこと、となると情報は・・・まだまだ新たなことが出そうですね。

＜ところで、機関紙の「あゆみ」はどうですか＞

ひとり一任務ではないが、分担を決め週１回の発行体制が定着してきたのではないか。これが、昨年の従業員代表選挙にも大きく影響し、勝利に結びついたのではないか。機関紙は唯一の労働者への情報源、これからも、内容を充実していきたい。

＜最近の大和事業所の状況は＞

喜ばしいことに、大和で２名の組合加入があり、２桁までもう少し大和分会も視野に入ってきたようだ。なにしろ、社員が２０００名を超えている事業所で、毎月の機関紙「かいな」の門前配布も１０００枚と定着してきた。

ここまでくると、酒の勢いもあって座談会がいつしか雑談となり、ここでお開き。
読者には、ほんの一部を紹介、ことしも「あゆみ」をよろしく